

「ブリッジサロン」投資家向けIRセミナー

クラウド化で高収益へ 独自データでAI時代を拓く

2026年9月5日



建設産業のIT導入を牽引したのち、モビリティ産業のDXを推進中



代表取締役社長
大山 堅司

1968年9月生まれ
鹿児島県出身

建設産業

- | | |
|----------|---|
| 1987年 4月 | ビーイング（土木工事積算ソフトの開発会社）設立に参画 |
| 1996年12月 | 米シリコンバレーにBeing Investment Corpを設立
CEOに就任 |
| 1999年10月 | ビーイングがJASDAQ市場に上場*1 |
| 2000年 7月 | ビーイングの取締役副社長に就任 |

*1 2021年6月、MBOにより株式非公開化

モビリティ産業

- | | |
|----------|--|
| 2005年10月 | アイ・ティー・エックスの顧問に就任
ITX翼ネット（現ブロードリーフ）の創業を支援 |
| 2006年 1月 | ブロードリーフ取締役副社長に就任 |
| 2006年 6月 | ブロードリーフ代表取締役社長に就任（現任） |
| 2013年 3月 | ブロードリーフが東証第一部に上場*2 |

*2 2022年4月、東証プライムに移行

① ブロードリーフはどんな会社？

② どのように成長していく？

③ 参考情報

① **ブロードリーフはどんな会社？**

② どのように成長していく？

③ 参考情報

感謝と喜び

「感謝と喜び」の心を根本に、幅広い業種・業界に特化した、より良い商品・サービス、付加価値の高いデータを提供することにより、お客さまの事業創造に貢献いたします。

ブロードリーフ（Broadleaf）とは広葉樹のことです

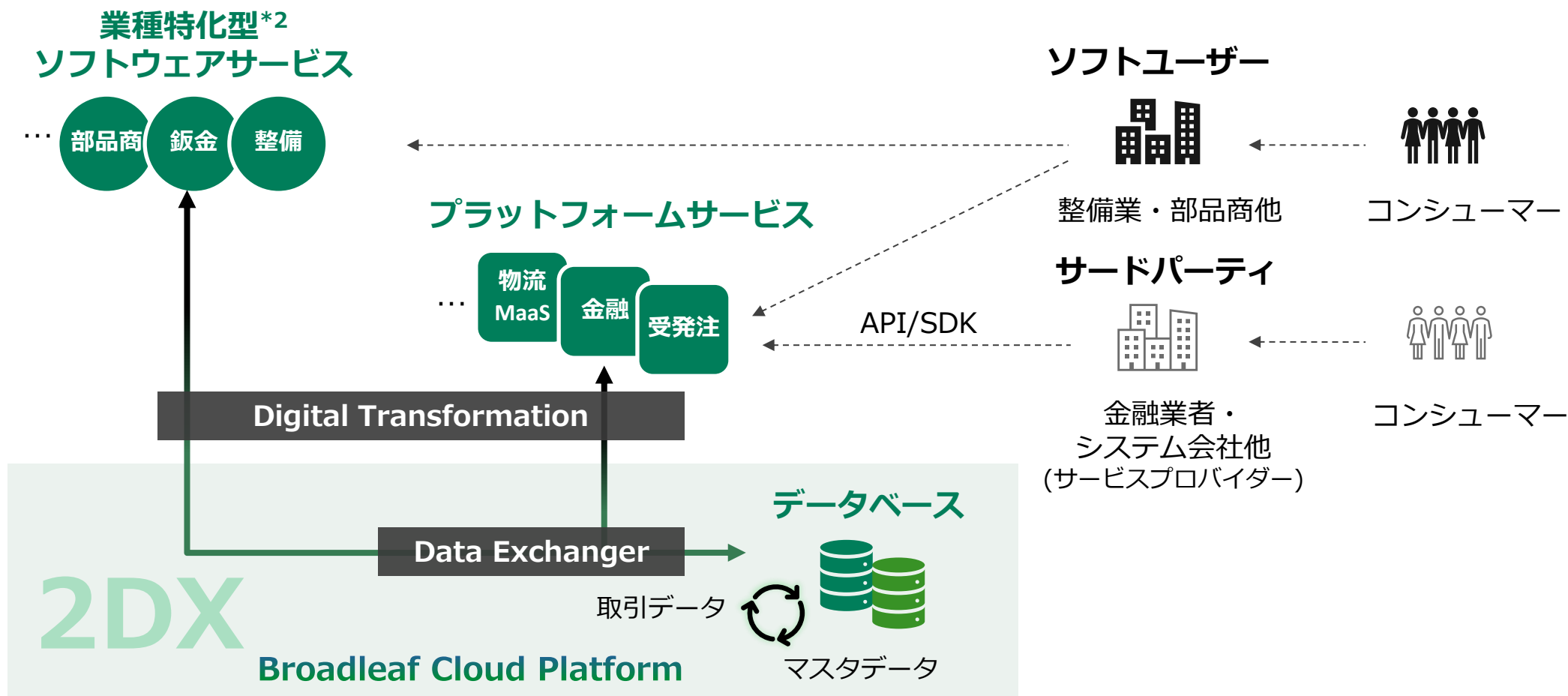
広葉樹の多くは春から夏にかけて葉に日差しを受けて成長し、冬には葉と実を落として土に養分を返します。

その循環がさまざまな動植物と共生できるフィールドを育むのです。

ビジネスの大地に一本の広葉樹として根をおろし、葉を茂らせ、実をつけ、お客さまをはじめとするすべての人々とともに未来へと成長を続けたい。

ブロードリーフという名にはそのような気持ちが込められています。

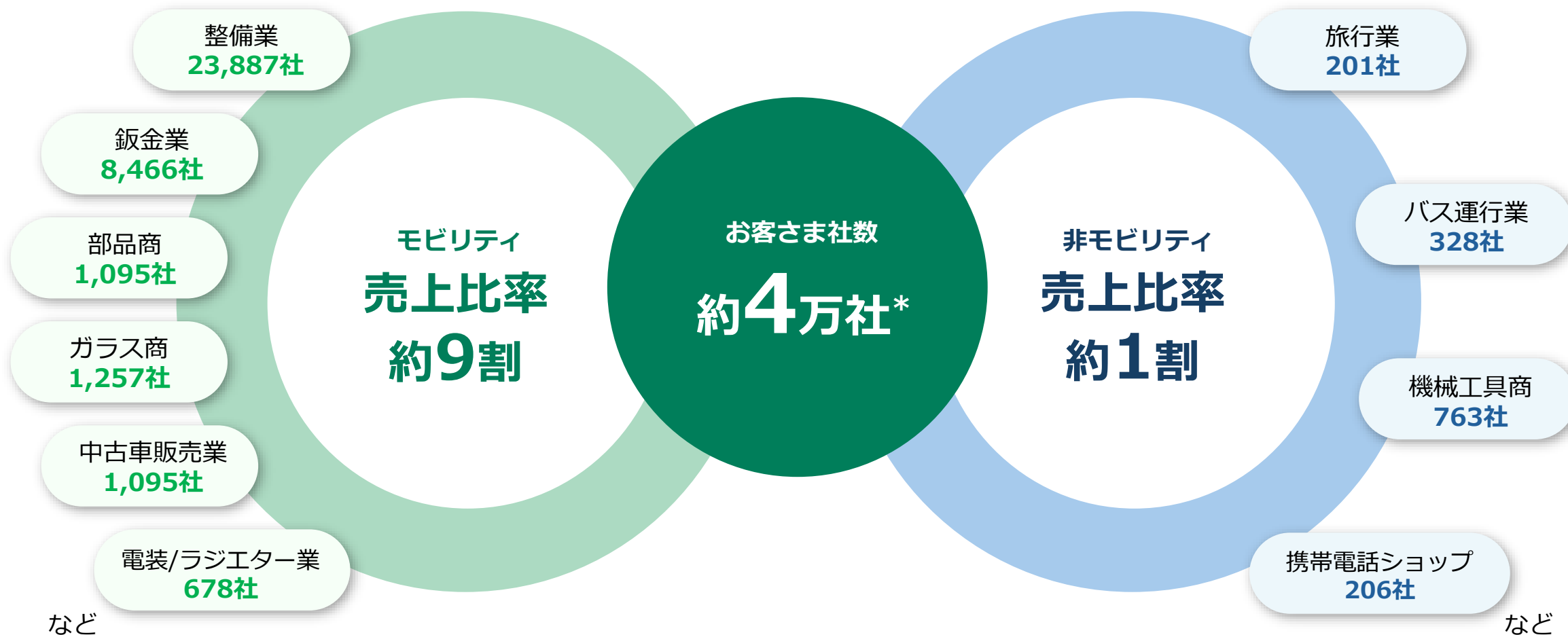
共通クラウド基盤BCP^{*1}上で、業種に特化した「ソフトウェアサービス」と、企業・取引・データをつなぐ「プラットフォームサービス」を一体的に展開



*1 Broadleaf Cloud Platform (BCP) : 当社のソフトウェアサービスやプラットフォームサービス、外部サービスとの連携を支える共通IT基盤

*2 業種特化型ソフトウェアの主な対応業種は次ページに記載

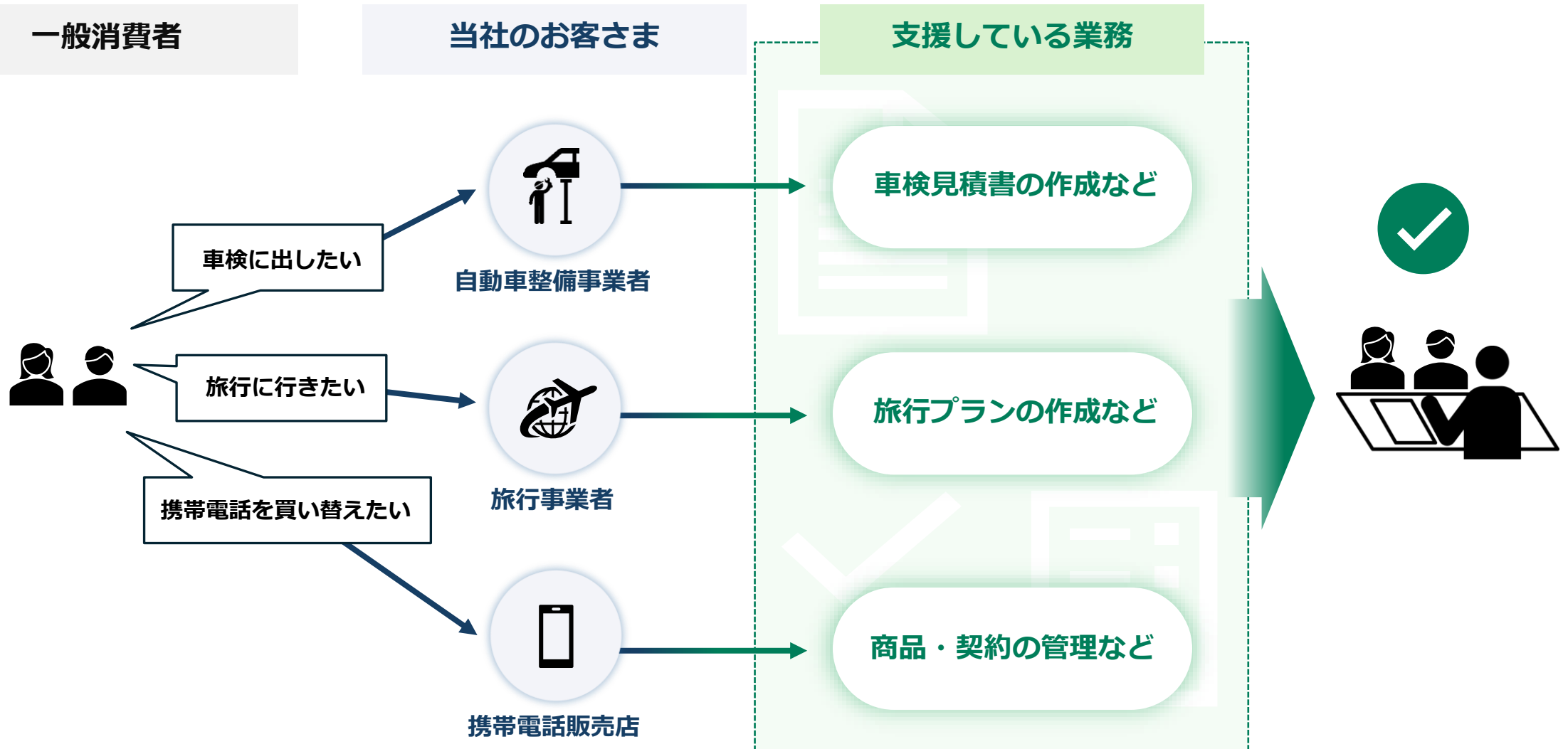
国内約4万社の顧客基盤を有し、クルマの販売後を支えるカーアフターマーケットを中核に事業を展開
整備業・钣金業などのモビリティ産業関連売上が全体の約9割



* 2024年12月末時点

※ 一つの企業で別業種の業種別ライセンスも導入している場合はそれぞれの業種で1社とカウント

車検や修理の見積書、旅行会社の旅程プランなどブロードリーフの業務ソフトで作成



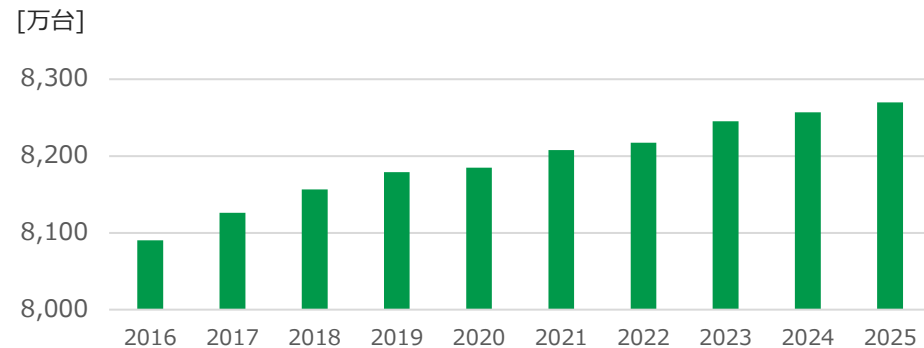
① ブロードリーフはどんな会社？

② **どのように成長していく？**

③ 参考情報

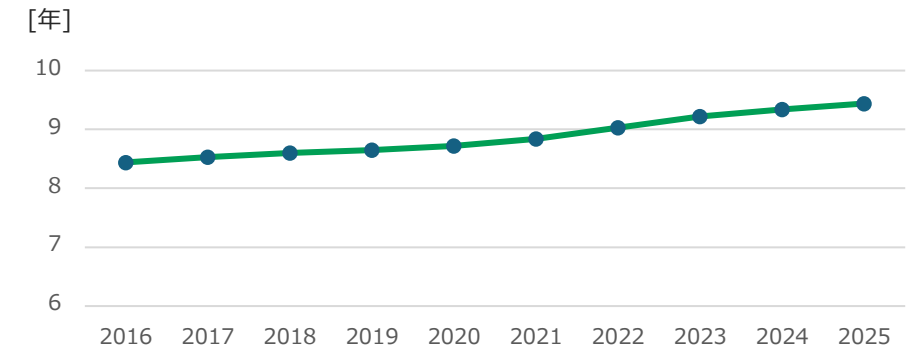
国内の自動車保有台数は高水準で推移し、乗用車の平均車齢も上昇、整備・補修需要を下支え
業界における人手不足、整備の高度化を背景とした現場のDXニーズは高い

国内自動車（軽含む）保有台数



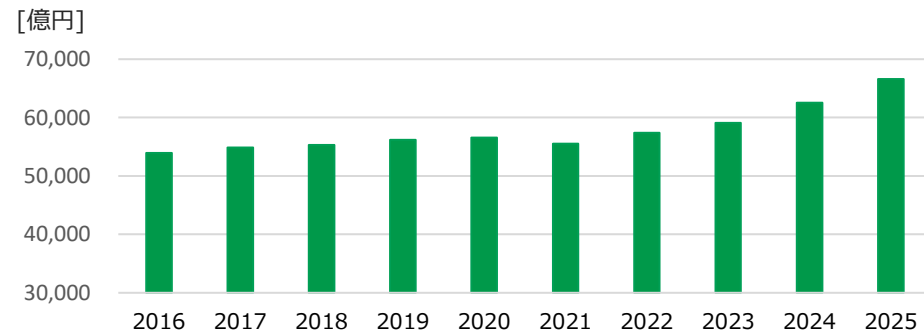
(出所) 自検協「自動車保有台数の推移」

乗用車の平均車齢



(出所) 自検協「車種別の平均車齢推移表」

総整備売上高



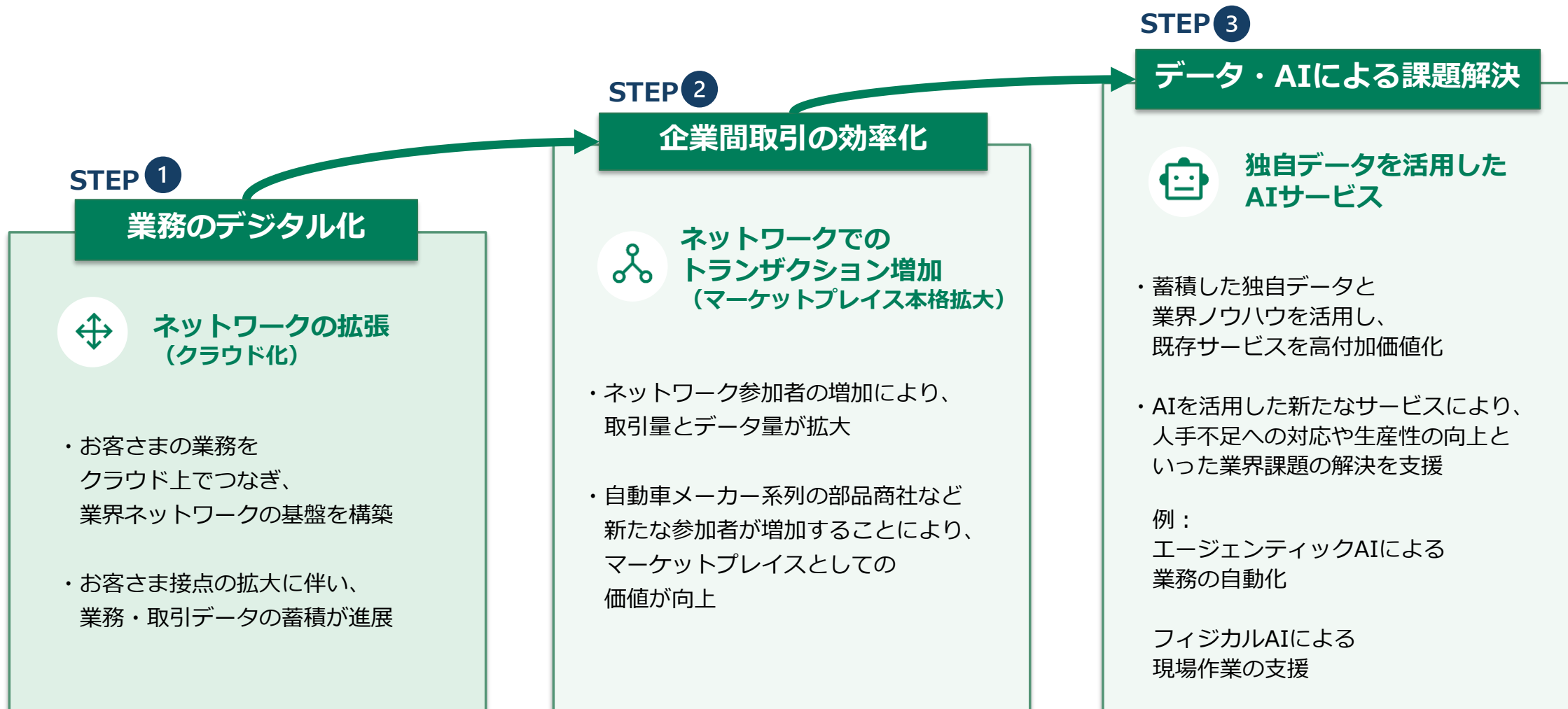
(出所) 一般社団法人日本自動車整備振興会連合会「自動車特定整備業実態調査」



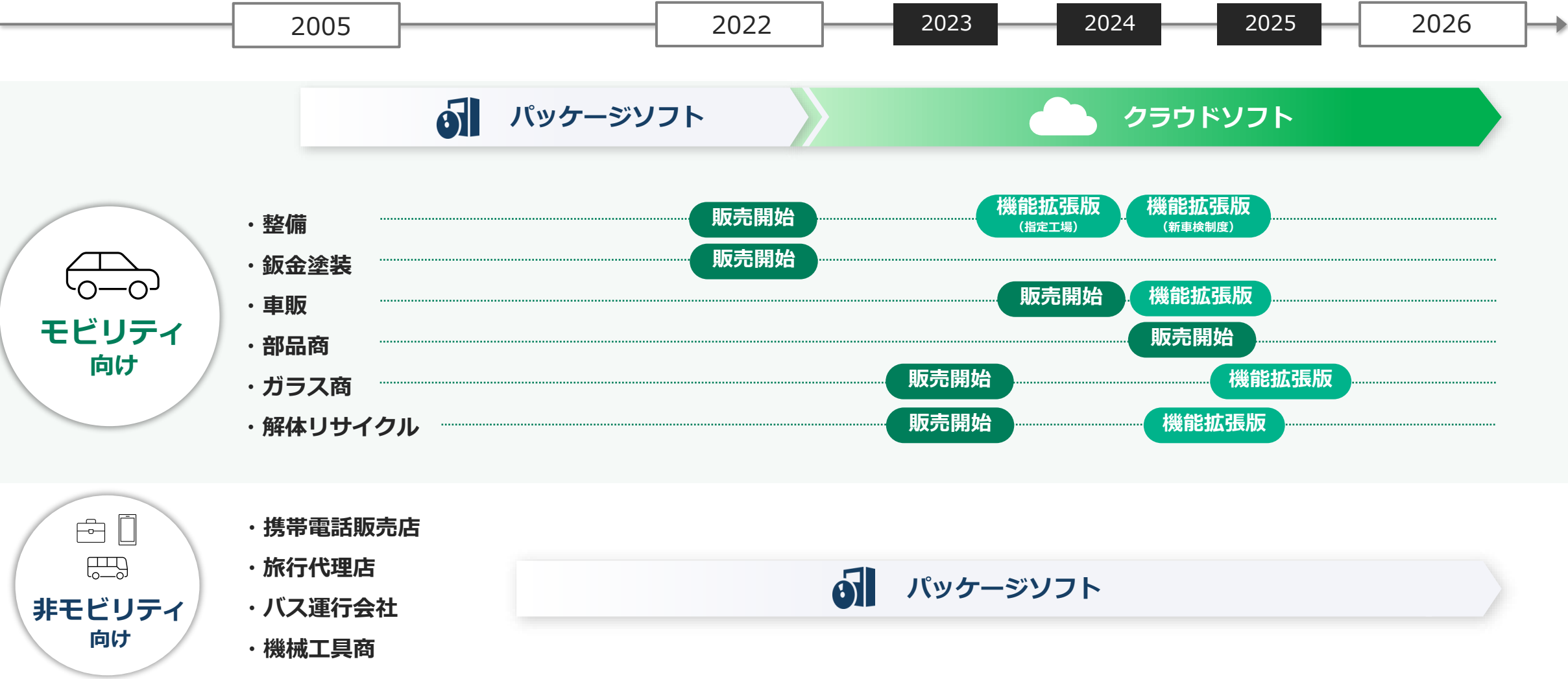
業界の課題

- 自動車整備士の人材確保
- 自動車整備の高度化
- 業界全体のDXの遅れ

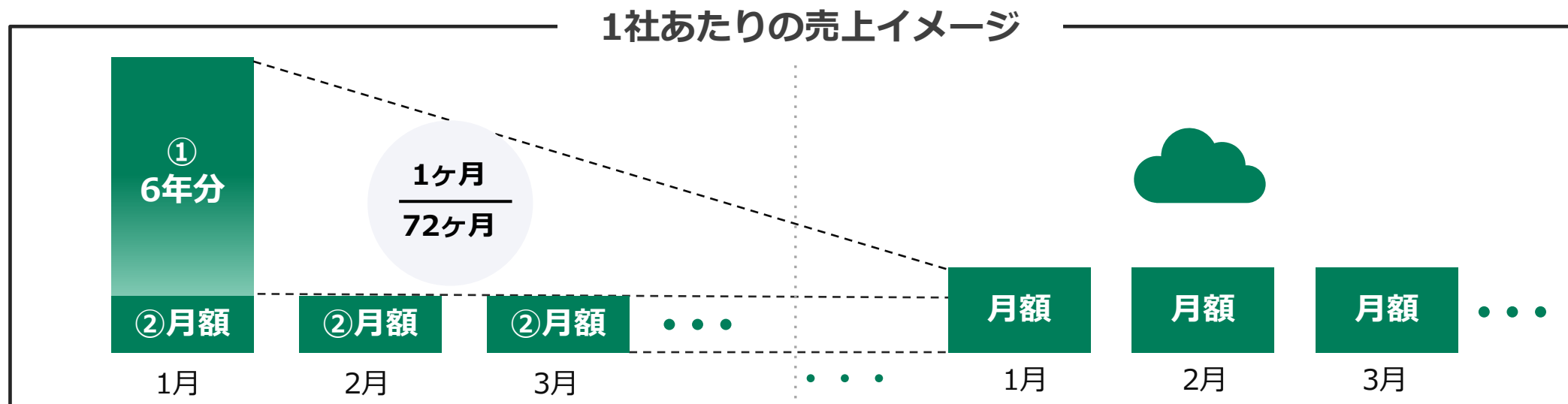
クラウド化による業務効率化と企業間連携を推進し、蓄積したデータとAIを活用したサービスを通じて、人手不足への対応や生産性向上など、お客さま業界が抱える課題の解決を支援



モビリティ産業向けは、2022年以降、業種ごとにクラウドソフトを順次展開し、対応業種の拡大と機能拡張を推進
非モビリティ産業向けは、引き続きパッケージソフトを提供



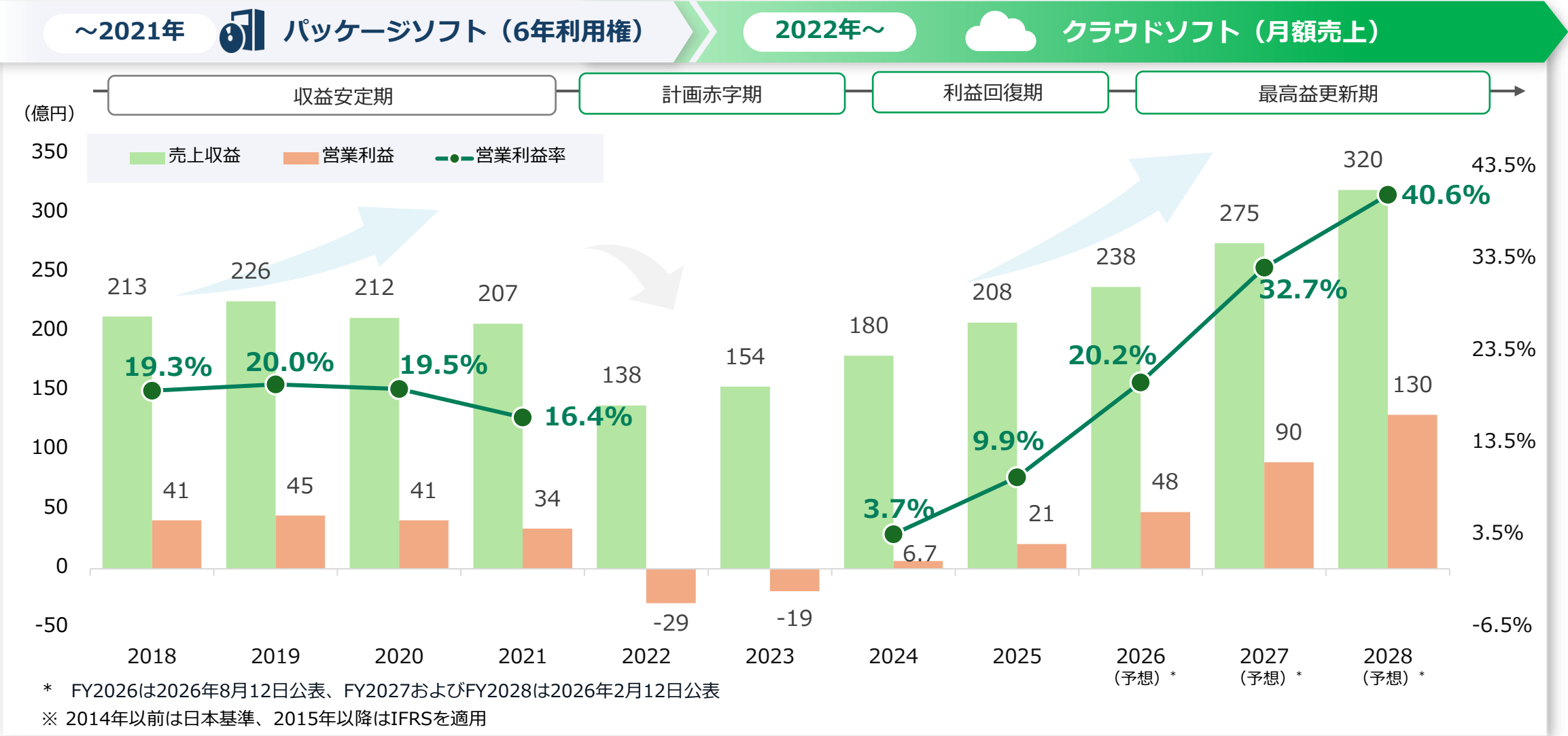
従来のパッケージソフトでは6年の利用権を一括で売上計上
モビリティ産業向けソフトのクラウド化によって、月額での売上計上へ変更



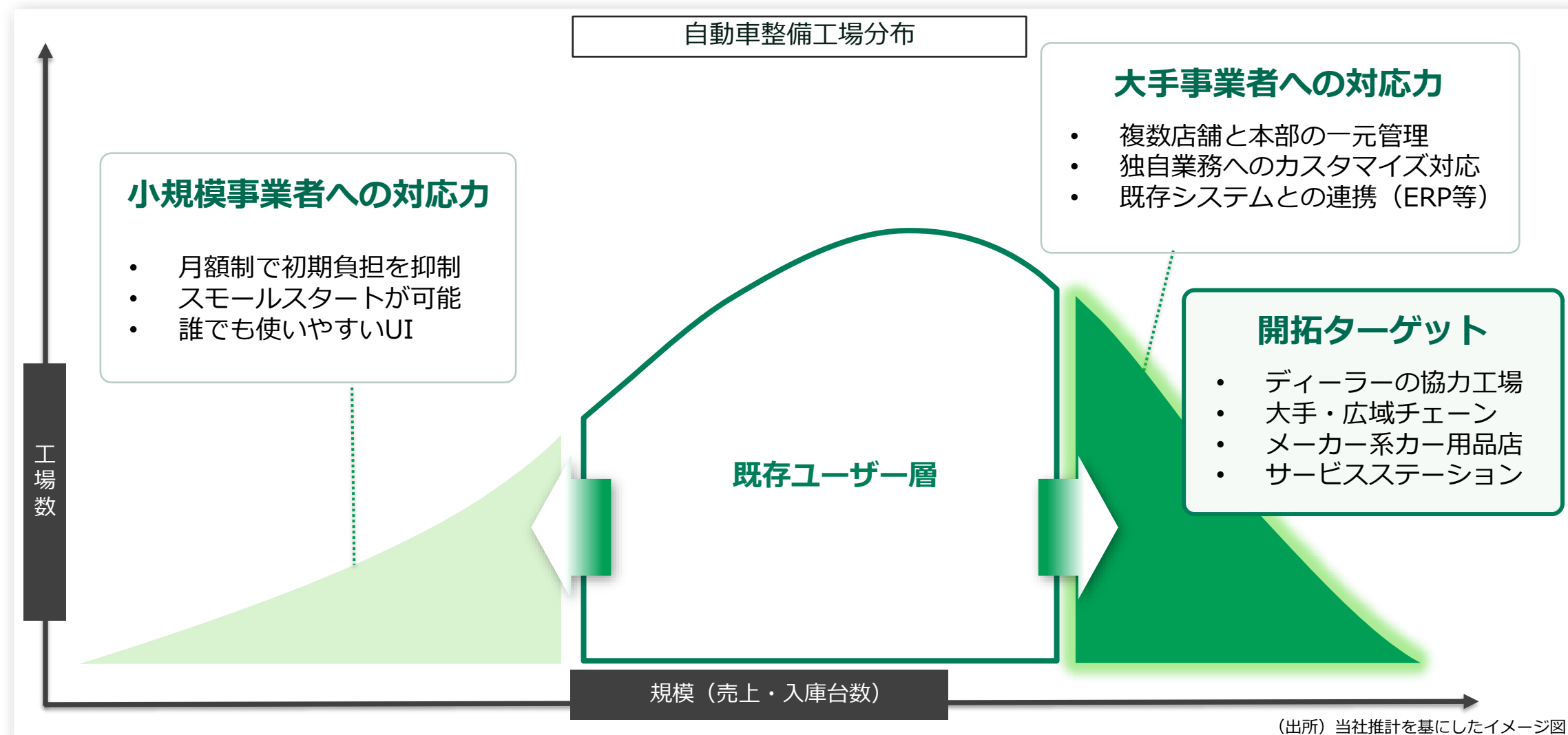
2028年までは既存モビリティ産業のお客さまのクラウド化が中心、
既存の人員・拠点・支援体制を活用するため、クラウドサービス売上の増加に対し、コストの増加は限定的

		パッケージソフト（6年利用権）		ポイント	クラウドソフト
原価	販管費	ソフト開発・保守		機能拡張に伴い増加 内製化・AI活用で抑制	クラウドソフトに係る開発資産の償却費 （10年）
		ハードウェア等		お客さま需要に連動	ハード・サプライ仕入
		人員・拠点・顧客支援		既存体制の活用 大規模な増員や拠点拡大を 想定せず	人員・拠点・顧客支援
		営業・管理・ITインフラ		効率化しながら継続	営業・管理・ITインフラ

主力サービスの収益力向上と新たな領域への事業展開を進めるため、クラウド化によるビジネス改革を推進
2022年から2023年の計画的赤字期間を経て、2024年以降は確かな利益成長軌道へ



クラウド化により、多様な業態・規模のお客さまへの対応力が向上
既存お客さまへのサービス提供に加え、有力な整備工場や大手事業者などへの新規開拓も推進



当社が保有する基礎データとお客さまの業務データを、契約・権限に基づく利用可能な範囲で連携
専門部隊によるデータ整備とAI活用、ソフトへの還元を通じて、データ品質とサービス価値が高まる循環を構築

当社側

-  車両・型式
-  部品・価格
-  整備作業・工数
-  コード・関係情報

お客さま側

日常業務で生まれるリアルな一次データ

-  修理・整備履歴
-  事故・見積・取引・在庫
-  地域・季節・ニーズ

データを「きれい」に整備

唯一性

機密性

長期間

- ✓ コード・表記を統一
- ✓ 誤り・重複を補正
- ✓ 車両・部品・整備を紐付け
- ✓ 常に更新・検証

当社ソフトを
日常業務で利用



AI活用に適した
信頼性の高いデータ



データを お客さまの業務価値へ

将来の活用イメージ



需要予測

必要な部品・消耗品を先読み



整備提案

車両状態に応じた点検・交換



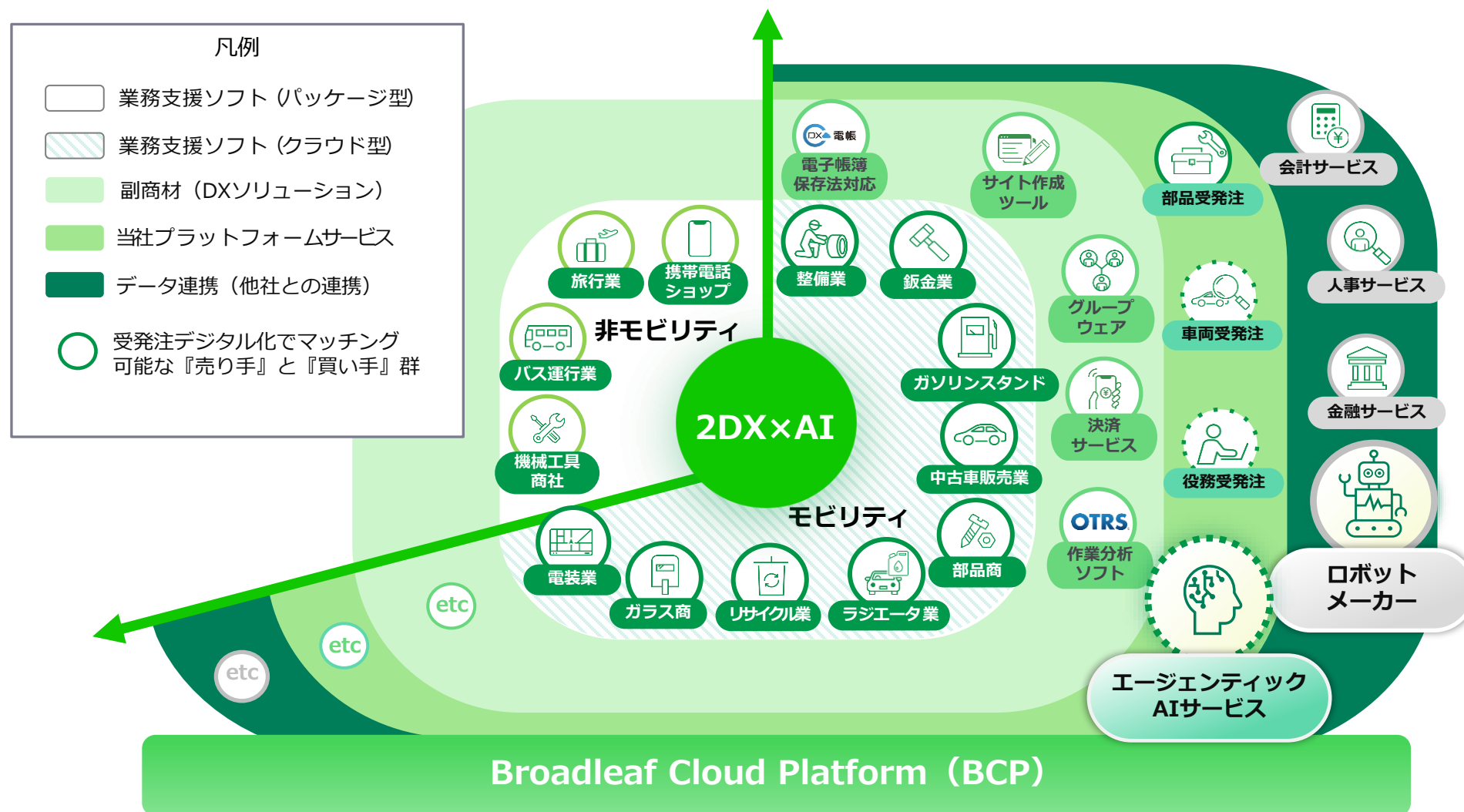
業務支援

見積・検索・経営判断を効率化



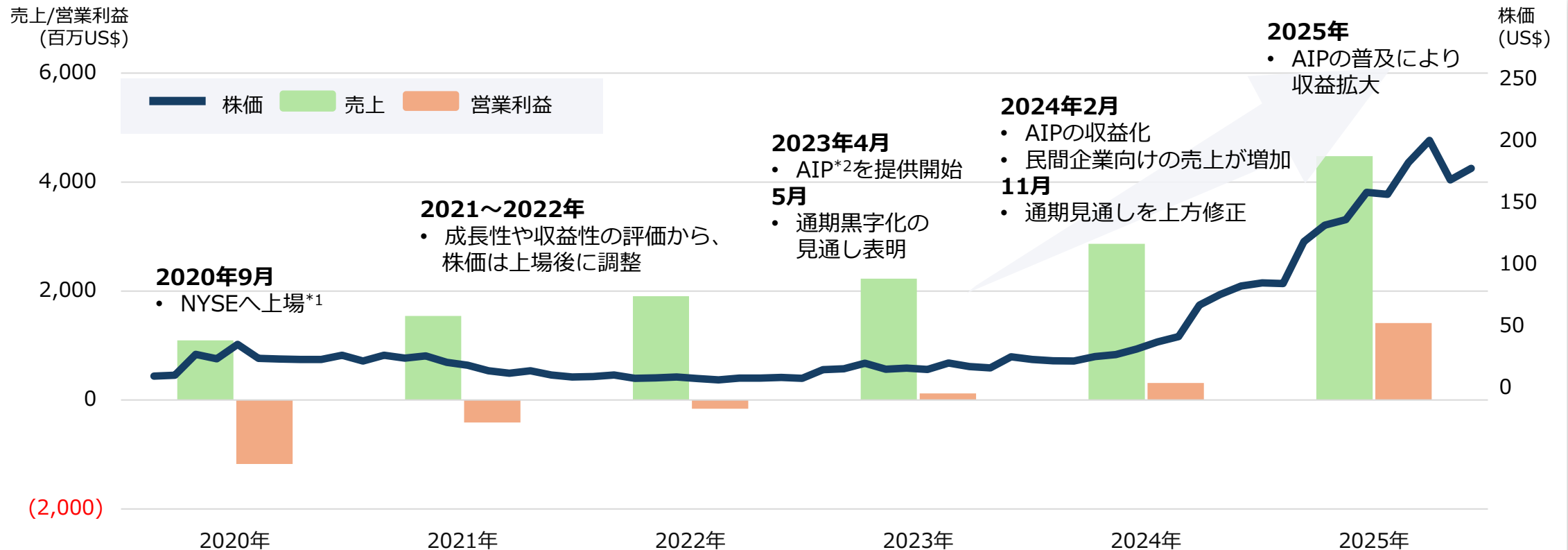
お客さまの生産性向上・
収益機会の拡大

2DXとAIの融合によるサービスの拡張を継続しており、独自データを活用したAIサービスの実用化を推進中



データビジネスの成功事例 - パランティア・テクノロジーズ社 (NASDAQ)

パランティア・テクノロジーズ社は、分散した企業データをAIが使える「きれいなデータ」に変換し、意思決定に使えるための基盤を提供する企業
データ×AIの活用でデータ資産が高い収益成長を生む構造となり、株価は上場時から大きく上昇



(出所) Palantir Technologies Inc. IR資料よりブロードリーフ作成

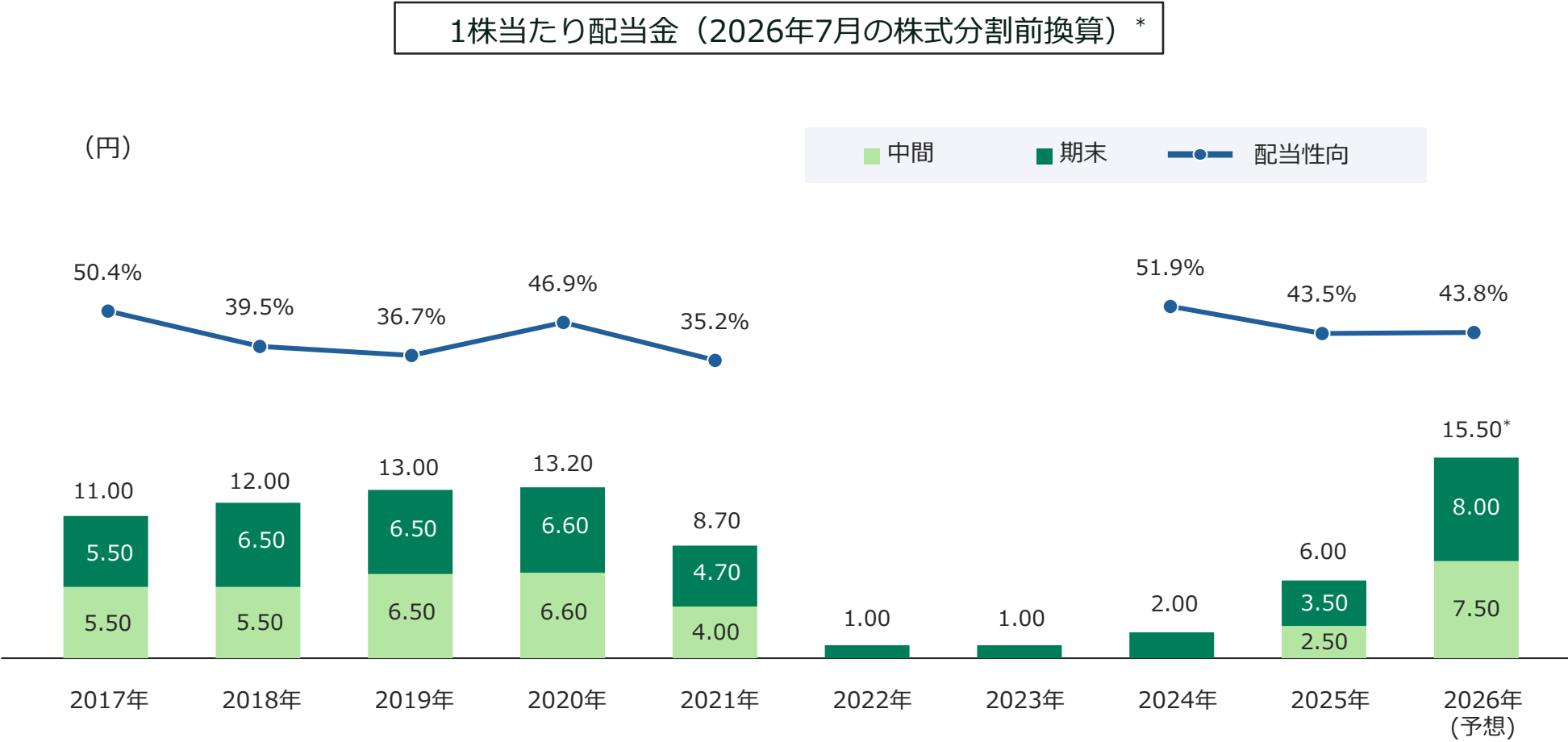
*1 2024年11月26日、NASDAQへ変更

*2 AIP (Artificial Intelligence Platform) : 生成AIに自社特有のデータを連携させ、実際の業務や経営判断にそのまま使えるよう安全に組み込む仕組み (基盤) のこと

※ パランティア社と当社では、事業領域、事業規模および提供サービスが異なります。

本事例はデータとAIを組み合わせた事業展開の参考例であり、当社の将来の業績や株価を示唆するものではありません。

業績回復に伴い配当は過去最高水準へ
連結配当性向「40%以上」を目安に安定的な配当を実施、稼いだ利益をしっかりと株主さまへ還元



* 2026年7月1日を効力発生日として1株につき2株の株式分割を実施。2026年12月期の中間配当7.50円は分割前の実績、期末配当予想4.00円は分割後の金額
グラフでは比較のため、期末配当予想を分割前換算の8.00円、年間配当予想を15.50円として表示

① ブロードリーフはどんな会社？

② どのように成長していく？

③ **参考情報**

会社名	株式会社ブロードリーフ
創業/設立	2005年12月/2009年9月
本社所在地	東京都品川区東品川四丁目13-14 グラスキューブ品川 8階
国内拠点	全国 営業25拠点 開発3拠点
従業員数	924名（2025年12月末時点連結）
代表者	代表取締役社長 大山 堅司
上場市場（証券コード）	東京証券取引所 プライム市場（3673）
資本金	7,148百万円（2025年12月末時点）
決算期	12月期決算
監査法人	あずさ監査法人
主な子会社	株式会社タジマ、SALES GO株式会社

既存のお客さまのクラウドソフトへの切り替えは計画に沿って進展
価格改定などの継続的な収益上振れ要因も踏まえ、2027年以降の計画を見直し中

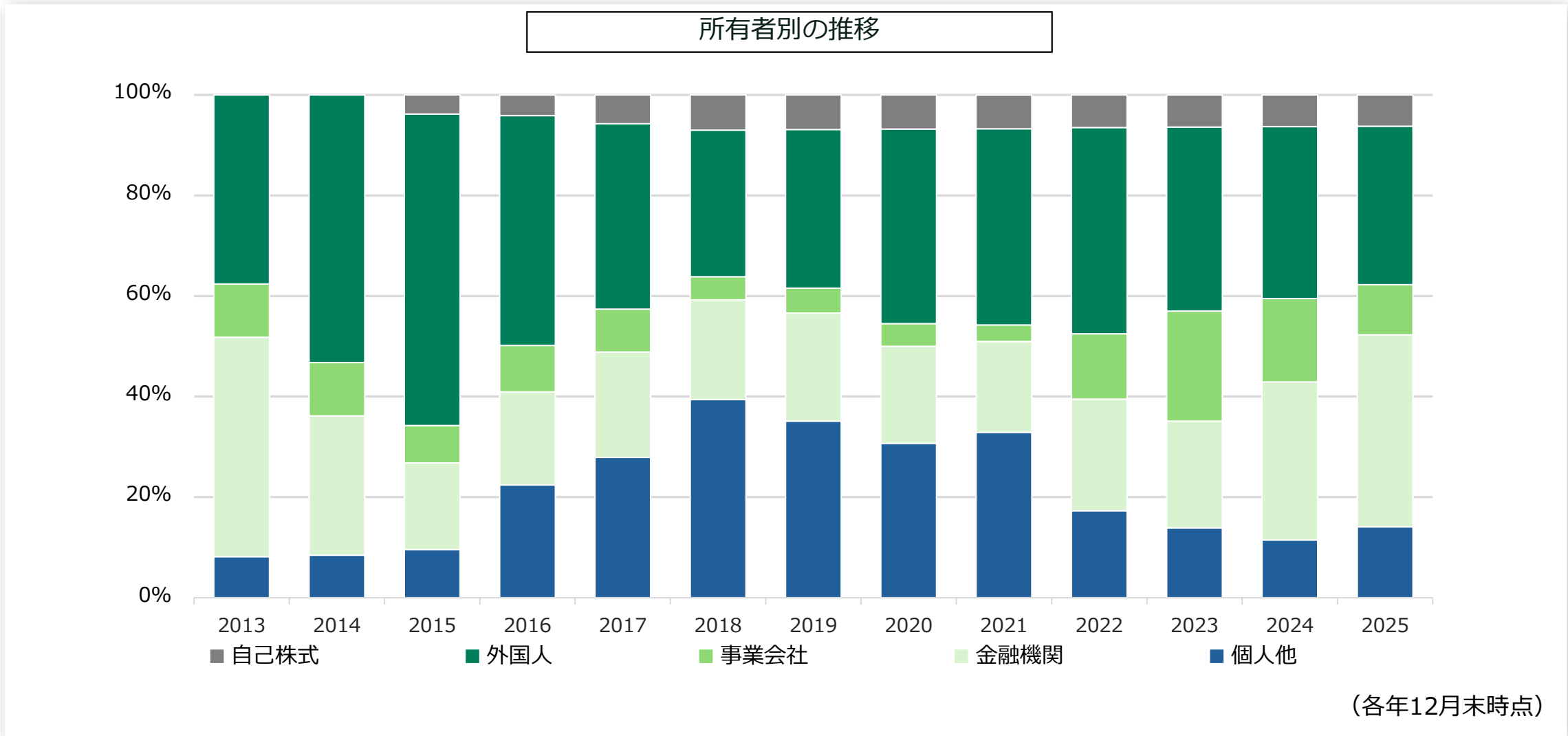
(百万円)	実績				予想*1		
	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026	FY2027	FY2028
売上収益	13,833	15,385	18,045	20,815	23,800	27,500	32,000
クラウドサービス	2,748	5,459	8,210	11,832	15,600	20,900	26,800
パッケージシステム	9,230	8,021	7,450	5,699	5,000	4,500	3,300
その他	1,854	1,904	2,386	3,285	3,200	2,100	1,900
営業利益*2	-2,897	-1,902	674	2,063	4,800	9,000	13,000
営業利益率	-	-	3.7%	9.9%	20.2%	32.7%	40.6%
親会社の所有者に帰属する当期利益*2	-2,431	-1,487	343	1,240	3,200	6,000	8,500
当期利益率	-	-	1.9%	6.0%	13.4%	21.8%	26.6%
基本的1株当たり当期利益*3	-	-	1.93円	6.90円	17.68円	33.14円	46.95円

* 1 FY2026は2026年8月12日公表、FY2027およびFY2028は2026年2月12日公表
* 2 -は損失
* 3 2026年7月1日を効力発生日として、1:2の株式分割を実施、基本的1株当たり当期利益は当該株式分割を反映した金額を記載



※株価は、2018年4月1日付と2026年7月1日付の株式分割を遡及調整した終値

外国人・国内機関投資家が株主の中心、近年では純投資目的で投資する事業会社も株主として存在



自動車整備における見積確認から作業実施確認までの各段階で、不正と疑われる処理を検知可能な技術に関連する特許8件を取得しました。（2026年4月発表）

取得した主な特許は、整備・钣金・修理に関わる見積内容の比較を行い、見積確認から作業実施確認までの各段階での不正と疑われる処理を検知可能とするものです。また、この特許に関連して、車載故障診断装置（OBD）から取得される診断情報を活用した再見積り、整備工場による見積入札、見積差分の判断、作業指示、作業証跡保持などに関するものです。

【取得した特許の主な対象領域】



- ①見積同士の比較による相違点の把握
- ②OBD情報を活用した再見積り
- ③整備工場による見積入札
- ④見積差分の判断
- ⑤作業コンピュータへの作業指示連携
- ⑥相違点合意後の作業指示
- ⑦ハッシュ値を用いた見積エビデンス保持
- ⑧整備記録簿を用いた作業実施内容の確認

詳細はこちら



https://www.broadleaf.co.jp/company/press/press_detail/?itemid=357&dispmid=1002

トピックス② 広島県三原市で広葉樹の苗木2,700本を植樹

2026年5月15日・16日の2日間、広島県三原市大和町大草にて、創業20周年記念事業として全社員参加による植樹イベントを実施しました。本イベントでは、植樹地周辺に自生する広葉樹を中心とした27種、計2,700本の苗木を植樹し、新たな「ブロードリーフの森」づくりを開始しました。（2026年6月発表）

本イベントは、ブロードリーフが2008年より推進している企業参画型環境保全活動「GrowLeafプロジェクト」で培ってきた知見を活かし、当社として初めて、自社主導で地域の皆さまのご協力をいただきながら実施した、地域協働型の森づくりです。

当日は全国各地の拠点、そしてグループ会社の社員約800名に加え、「GrowLeafプロジェクト」の会員企業の方々が参加しました。5月15日の開会式では、広島県議会議員の桑木 良典様にご挨拶いただきました。また、三原市経済部 農林水産課 課長の大久保 和通様、同課 林務畜産係 係長の茂見 鉄平様、広島県農林水産局 森林保全課 の方々にもご臨席いただきました。

🌳記念植樹🌳



写真左から、広島県議会議員 桑木 良典様、当社代表取締役社長 大山堅司、一般社団法人森林再生整備事業体シンラ 代表理事の蔵田 和樹様



写真前列 三原市経済部 農林水産課 課長 大久保 和通様、当社代表取締役社長 大山堅司、
写真後列 三原市経済部 林務畜産係 係長 茂見 鉄平様



詳細はこちら



https://www.broadleaf.co.jp/company/press/press_detail/?itemid=359&dispmid=1002

各種IR資料を当社IR情報ページへ掲載しております。

ブロードリーフ IR情報ページ

<https://www.broadleaf.co.jp/ir/>

2026年12月期 中間決算説明会 動画・資料

中間決算説明会資料

一括ダウンロードはこちら ⇨



https://ssl4.eir-parts.net/doc/3673/new_release/10.zip 【容量：1.4MB】

1. 決算短信

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/3673/tdnet/2871396/00.pdf>

2. 決算説明資料

https://ssl4.eir-parts.net/doc/3673/ir_material_for_fiscal_ym/210445/00.pdf

3. 決算説明動画（約26分）

<https://www.broadleaf.co.jp/ir/library/movie/>

2026年12月期 ビジネスレポート中間（株主通信）

9月下旬、IR情報内の株主通信ページへ掲載予定

https://www.broadleaf.co.jp/ir/library/business_report/

アナリストレポート

当説明会運営のブリッジサロンさま提供のブリッジレポート

https://www.bridge-salon.jp/report_bridge/archives/2026/04/260406_3673.html



※ ロビー内、会場入り口手前右側のテーブルに置いています。
お帰りの際にご自由にお持ち帰りください。

SBI証券さま提供 アナリストレポート

SBI証券さまの証券口座を保有の皆さまは取得可能
2026年8月14日更新分：投資判断「買い」、目標株価700円

※ 記載内容は各レポートの発行日時点における第三者機関の見解であり、
当社が内容、投資判断または目標株価を保証するものではありません。

用語	意味
API／SDK	外部システムとの連携や機能開発を行うための仕組み・ツール
クラウド化	システムやデータをクラウド環境へ移行すること モビリティ産業向けソフトをパッケージソフトからクラウドソフトへ切り替え、月額型のサービスへ移行する当社の事業改革
クラウドソフト	一般的な意味：インターネットなどのネットワークを通じて利用するソフトウェア 本資料・当社における意味：2022年以降、モビリティ産業向けに順次展開している業種特化型ソフト、利用料を月額で売上計上
ソフトウェアサービス	整備業・钣金業・部品商など、それぞれの業種の業務に特化したソフトウェアサービス
トランザクション	当社プラットフォーム上で行われる受発注などの企業間取引や、それに伴う業務処理
パッケージソフト	一般的な意味：複数のお客さまに提供する、標準化された既製ソフトウェア 本資料・当社における意味：6年間の利用権を販売し、販売時に利用権部分を一括で売上計上する従来型の商品 非モビリティ産業向けには提供を継続
BCP	Broadleaf Cloud Platformの略、ブロードリーフの登録商標 当社のソフトウェアサービス、プラットフォームサービス、外部サービスとの連携を支える共通IT基盤
プラットフォームサービス	受発注・物流・金融などを通じて、企業・取引・データをつなぐサービス
マーケットプレイス	整備工場、部品商、サービス提供者などが参加し、受発注やサービス取引を行う場

用語	意味
AIP	Artificial Intelligence Platformの略 パランティア社が提供する、企業固有のデータと生成AIを安全に組み合わせ、実際の業務や意思決定に活用するための基盤
エージェントAI	目標に基づいて計画を立て、自律的に判断・実行するAI 見積、検索、提案など、業務プロセスの自動化への活用を想定
2DX	Digital TransformationとData Exchangerを表す標語、ブロードリーフの登録商標 当社のソフトウェア、データ、プラットフォームを組み合わせ、お客さまや業界全体のDXを支援する構想
フィジカルAI	AIとロボット・機械などを組み合わせ、現実空間で作業する技術 整備などの現場作業を支援する将来サービスとして活用を想定
マスタデータ	業務で共通して使用する、基準となるデータ 車両・型式、部品・価格、整備作業・工数、コード・関係情報など、当社が整備・更新する基礎データ

本資料に記載されている業績予想および将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

したがって、実際の業績はさまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますので、あらかじめご承知おきください。

なお、本資料は当社への理解を深めていただくことを目的としており、特定の有価証券の取得、売却、その他の投資行動を勧誘するものではありません。

投資に関する最終的な判断は、ご自身の責任において行っていただきますようお願いいたします。

お問い合わせ先

株式会社ブロードリーフ

インベスターリレーションズ室

【E-mail】 bl-ir@broadleaf.co.jp